

## 銘柄分析レポート：ジェネリック医薬品

## 1 はじめに

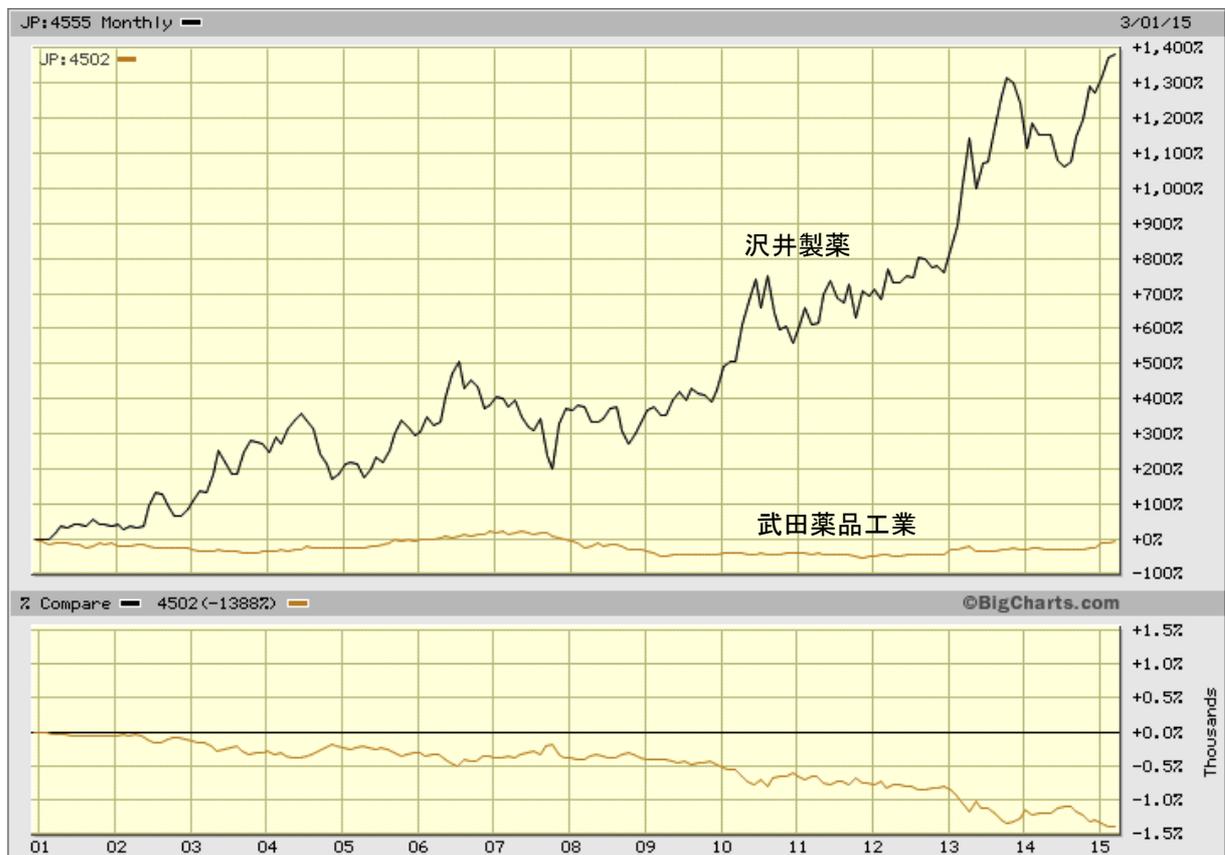
一昔前まで、医薬品メーカーのシンボリックストックといえば武田薬品工業（4502）でした。薬を飲み続ける必要のある、生活習慣病に強みを持つことで、長きにわたり“我が世の春”を謳歌できたのです。

しかしながら、その絶対王者も、主力薬の相次ぐ特許切れにより苦境に立たされています。

一方で、政府の普及促進策を追い風として、沢井製薬（4555）などのジェネリック（後発）医薬品メーカーが台頭してきました。医療現場の評判はいまひとつという話も聞こえてくるものの、国策には逆らえないということでしょう。

下図は武田薬品工業と沢井製薬の比較チャートですが、両社の勢いの差がパフォーマンスとなって表れています。今回の銘柄分析レポートでは、ジェネリック医薬品関連銘柄を取り上げます。

## ★武田薬品工業と沢井製薬の比較チャート



出典：BigCharts